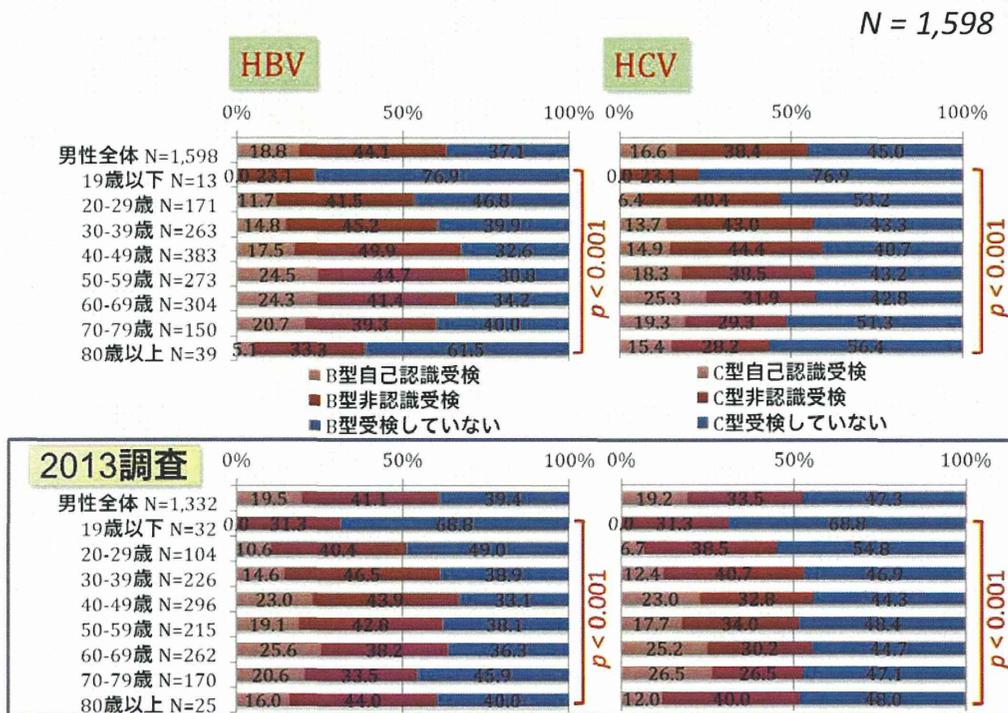


2015年度の性別・年齢階級別にみた「非認識受検者を含めた受検率」(図8)は、男性ではHBVは50歳代(69.2%)、HCVは40歳代(59.3%)、女性では30歳代(HBV:78.9%、HCV:72.2%)が最も高かった。また、(19歳以下を除くと)男性では80歳以上(HBV:38.4%、HCV:43.6%)、女性ではHBVは20歳代(51.4%)、HCVは70歳代(41.6%)が最も低かった。(図8)

下を除くと)男性では80歳以上(HBV:38.4%、HCV:43.6%)、女性ではHBVは20歳代(51.4%)、HCVは70歳代(41.6%)が最も低かった。(図8)

### 男性・年齢階級別にみた非認識受検者を含めた受検率



### 女性・年齢階級別にみた非認識受検者を含めた受検率

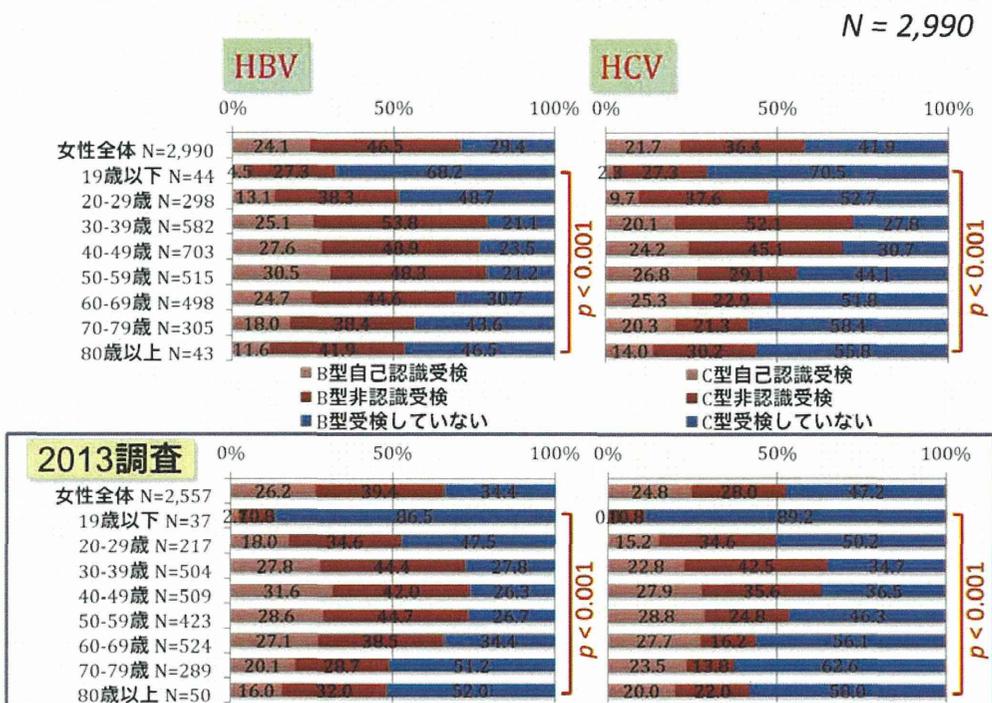
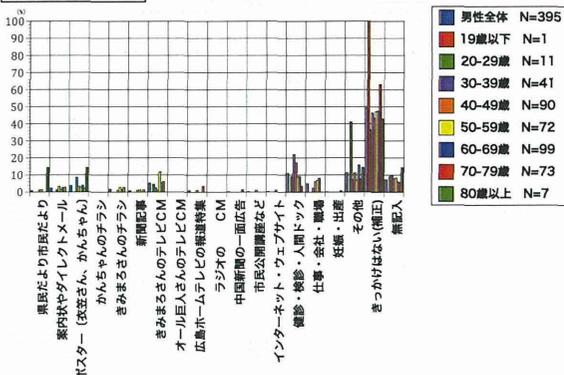


図8. 性別年齢階級別にみた非認識受検者を含めた受検率

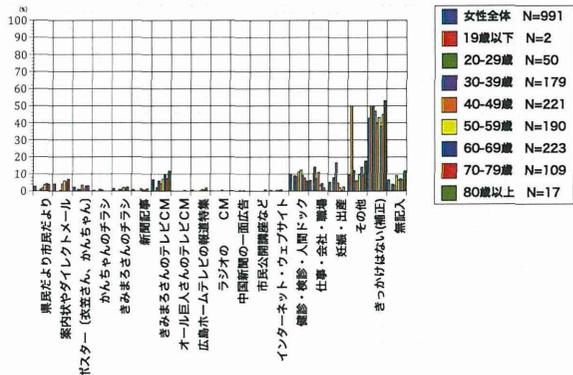


2013年度

男性 N=395

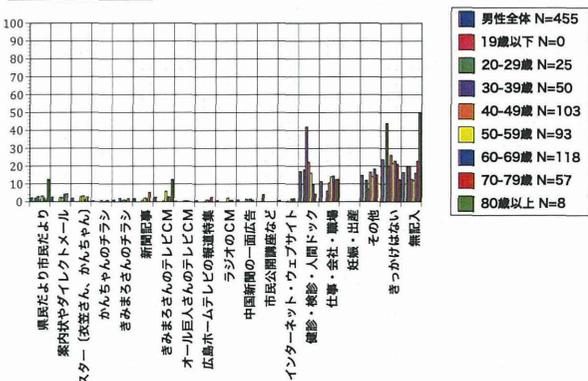


女性 N=991



2015年度

男性 N=455



女性 N=1,088

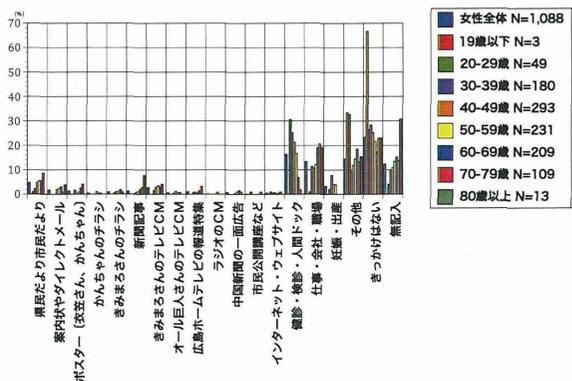


図 11. 性別・年齢階級別にみた肝炎ウイルス検査を受検する最も強いきっかけとなった情報 -2013年度、2015年度の比較-

性別にみた肝炎ウイルス検査受検場所 上位回答 (5%以上)

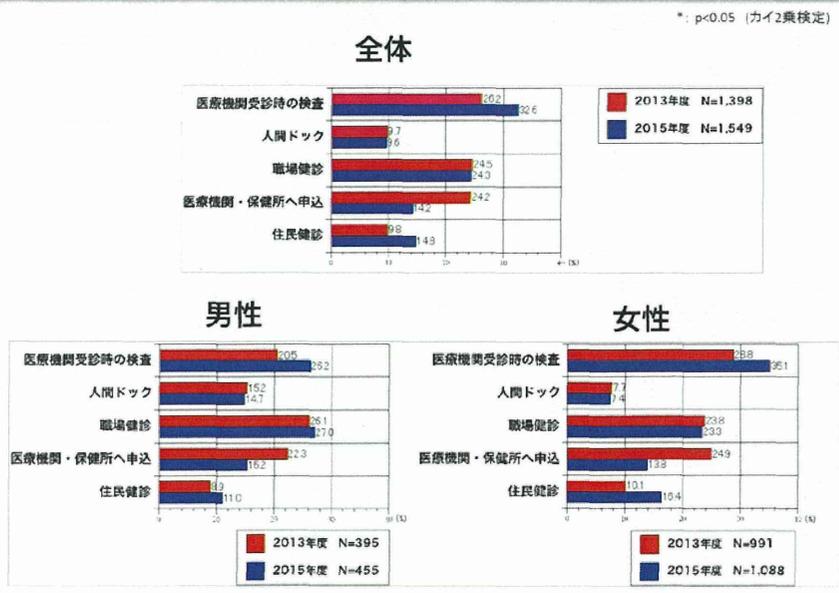


図 12. 肝炎ウイルス検査受検場所-2013年度、2015年度の比較-



図 13. 性別・年齢階級別にみた肝炎ウイルス検査受検場所-2015 年度調査結果-

b) 受検した時期 (図 14)

自己申告肝炎ウイルス検査受検者の受検時期は、老人保健法により住民を対象とした検査が行われるようになった 2002 年以降が全体の 82.8%であり、健康増進法により検査が行われるようになった 2008 年以降の受検者が全体の 67.0%であった。広島県において集中的に受検勧奨を行った 2013 年以降に受

検した人の割合は全体の 40.6%であった。

c) 受検した検査の種類 (図 15、16)

受検した検査の種類については、2015 年度の調査では「B 型と C 型肝炎ウイルス検査」が 46.9%であり、「わからない」が「21.0%」であった。性別では有意差はなく、高齢者ほど「わからない」割合が高かった。

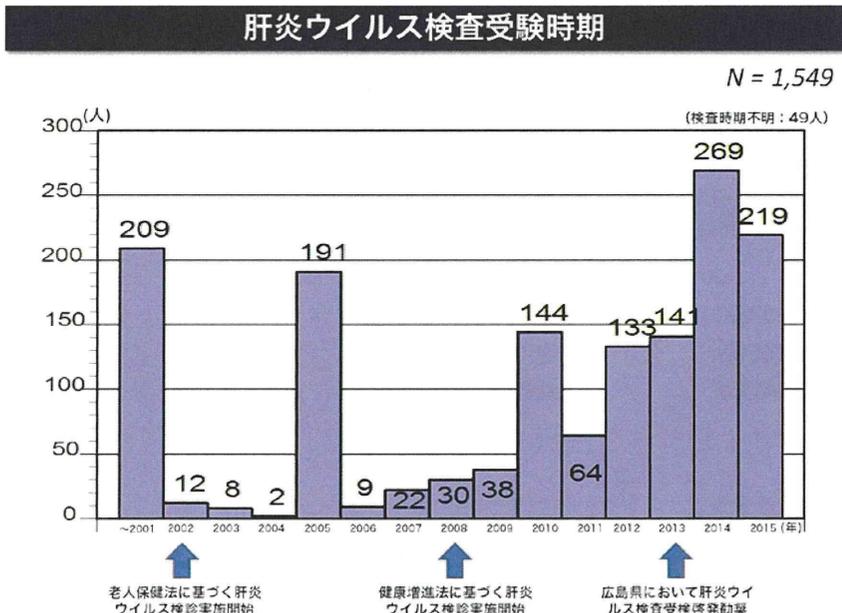


図 14. 肝炎ウイルス検査受検時期

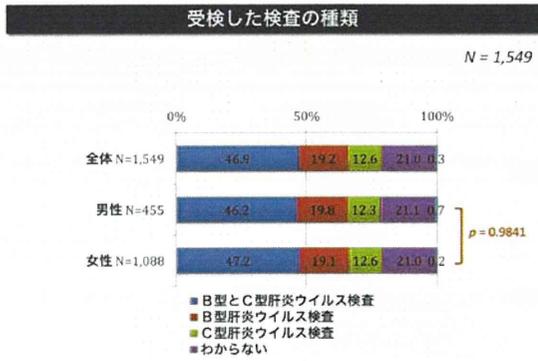


図 15. 受検した肝炎ウイルス検査の種類-2015年度調査結果-

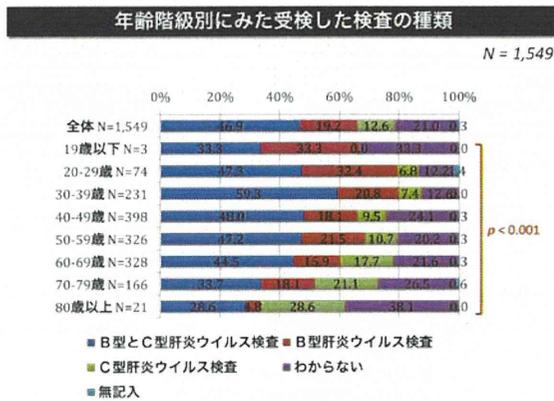


図 16. 年齢階級別にみた受検した肝炎ウイルス検査の種類-2015年度調査結果-

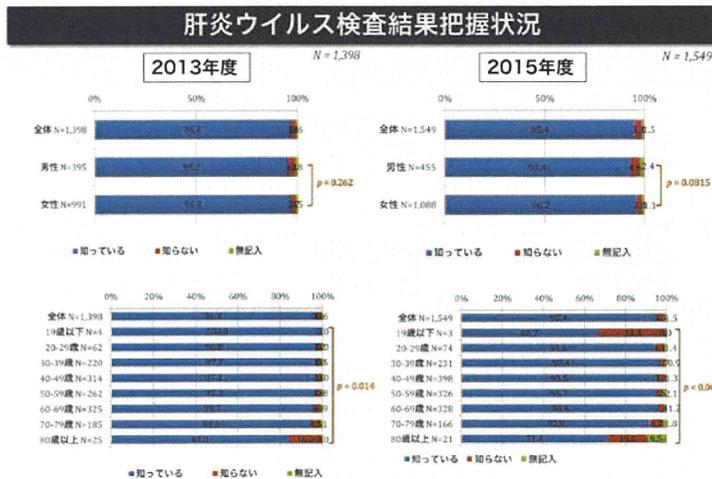


図 17. 肝炎ウイルス検査結果把握状況

d)受検検査結果把握状況 (図 17)

自己申告肝炎ウイルス検査受検者のうち、検査結果を把握している割合は 2013 年度は 96.4% (1,347 人/1,398 人)、2015 年度は 95.4% (1,477 人/1,549 人) であり、性差はなく、高齢者はやや低い傾向であった。

e)検査陽性者の医療機関受診状況 (図 18)

検査結果が陽性であったと回答した肝炎ウイルス検査受検者のうち、医療機関を受診したことがある人の割合は 2013 年度 79 人中 71 人 (89.9%)、2015 年度 99 人中 87 人 (87.9%) であり、2013 年度と 2015 年度の医療機関受診率に有意差を認めなかった ( $p=0.6755$ )。

「受診し、治癒した」または「現在、治療中である」人の割合は 2013 年度では 68.4%、2015 年度では 74.8%と増加したが、統計学的有意差は認めなかった ( $p=0.3457$ )。

医療機関を受診していない理由として、2013 年度は 8 人中 2 人は「機会がなかった」、1 人は「受診する必要がある」1 人は「どこへ受診してよいかわからない」と回答した。2015 年度では、12 人中 8 人が「受診する必要がある」と回答し、1 人が「どこに受診してよいかわからない」と回答した。(図 18)

## 肝炎ウイルス検査陽性者の医療機関受診状況

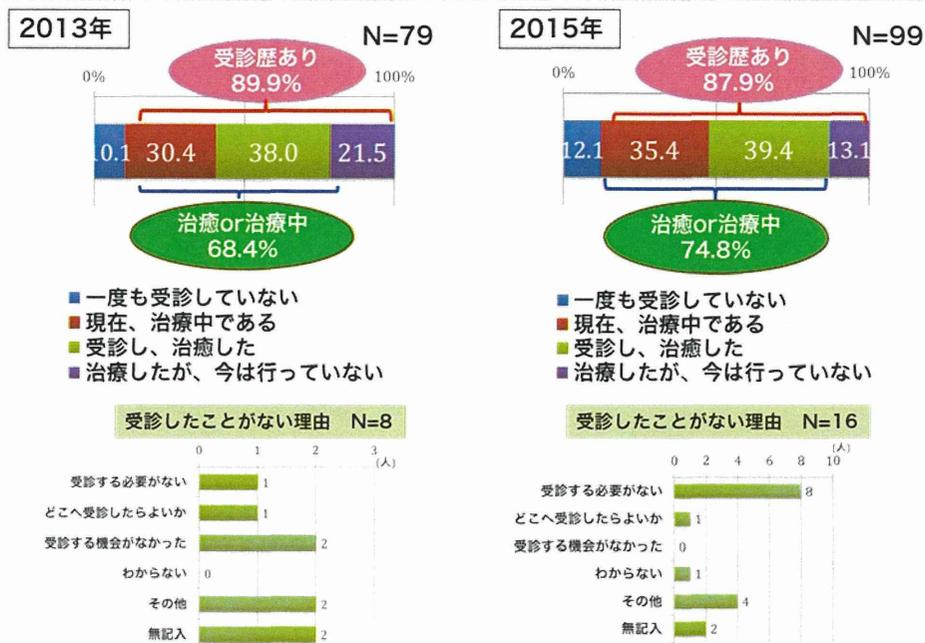


図 18. 肝炎ウイルス検査陽性者の医療機関受診状況-2013年度、2015年度の比較-

### (3) 肝炎ウイルス検査未受検者に対する調査結果

#### a) 未受検理由

「肝炎ウイルス検査を受けたことがない理由」としては、2013年度、2015年度ともに「機会がなかった」という回答が最も多く（2013年度:40.2%、2015年度:36.9%）、次いで「検査のことを知らなかった」（2013年度:28.5%、2015年度:31.8%）、「受ける必要がない」（2013年度:26.3%、2015年度:25.8%）となった（図 19）。性差はなく、「機会がなかった」と回答した人は年代による差を認めなかったが、「検査のことを知らなかった」と回答した人は若い世代で、「受ける必要がない」と回答した人は高齢者で多かった（図 20）。

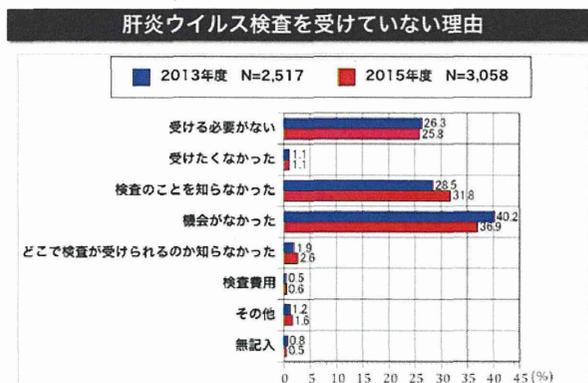


図 19. 肝炎ウイルス検査を受けていない理由 -2013年度、2015年度の比較-

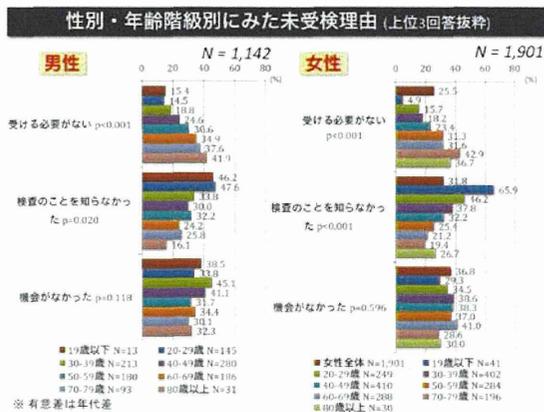


図 20. 性別・年齢階級別にみた未受検理由 -2015年度調査結果-

b) 今後の肝炎ウイルス検査受検希望  
 「肝炎検査を受けてみたいか」について、「受けたい（どちらかというと受けたい）」と回答した割合は 2008 年度の調査では 74.0%であったが、2013 年度では 58.5%、2015 年度では 54.5%と減少していた (p<0.0001)。(図 21)

2015 年度の調査結果を性別・年齢階級別にみると、男性では 40-50 歳代、女性では 30 歳代で最も受検を希望する割合が高かった。(図 22)

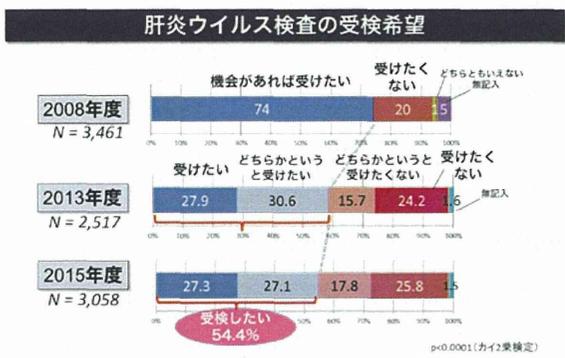


図 21. 肝炎ウイルス検査受検希望 - 2008 年度、2013 年度、2015 年度の比較

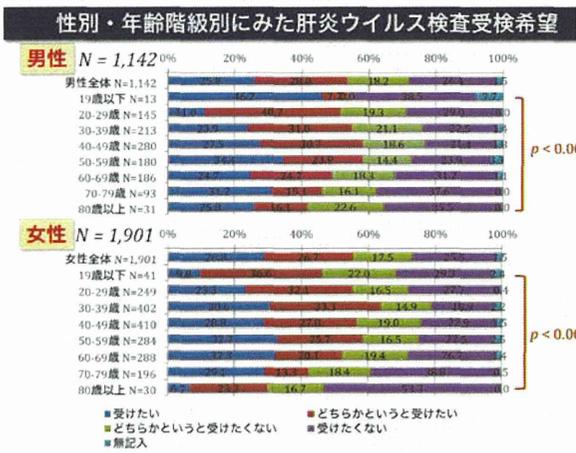


図 22. 性別・年齢階級別にみた肝炎ウイルス検査受検希望 - 2015 年度調査結果

c) 受けたことのある受検勧奨 (表 1)

未受検者のうち、これまでに検査を勧められたことがない人は 2013 年度 92.6% (2,332 人/2,517 人中)、2015 年度 94.1% (2,879 人/3,058 人中) であった。

受検を勧められた人の中では、「家族・知

人等から勧められた」人が最も多く (2013 年度: 1.2%、2015 年度: 1.1%)、次いで「医師から勧められた」 (2013 年度: 0.8%、2015 年度: 0.5%) であった。

「肝炎ウイルス検査」に関する情報や広告・CM を見たことがあると回答した未受検者は、2013 年度は 43.7%、2015 年度は 32.5% であった。最も印象に残っていたのは「きみまるさんのテレビ CM」 (2013 年度: 22.4%、2015 年度: 8.9%)、次いで「ポスター (衣笠さん、かんちゃん)」 (2013 年度: 5.8%、2015 年度: 4.4%)、「県民だより市民だより」 (2013 年度: 2.0%、2015 年度: 3.5%) であった。(表 2)

表 1. 未受検者がこれまでに受けた肝炎ウイルス検査受検勧奨 - 2013 年度、2015 年度の比較

	未受検者 N=2,517 (2013年度)		未受検者 N=3,058 (2015年度)		
	回答数	N=2,517に占める割合 (%)	回答数	N=3,058に占める割合 (%)	
肝炎ウイルス検査を勧められたことはない	2,332	92.6	2,879	94.1	
肝炎ウイルス検査を勧められたかもしれない	手術時	0	0.0	2	0.0
	献血時	3	0.1	0	0.0
	出産時	7	0.3	2	0.1
	その他	5	0.2	13	0.4
	未回答	6	0.2	7	0.2
	合計	21	0.8	23	0.8
肝炎ウイルス検査を勧められたことがある	家族・知人等から	31	1.2	32	1.1
	医師から	20	0.8	14	0.5
	看護婦から	1	0.0	1	0.0
	保健師から	4	0.2	3	0.1
	薬剤師から	1	0.0	0	0.0
	肝疾患コーディネーターから	0	0.0	1	0.0
	不明・未回答	40	1.6	27	0.9
	合計	97	3.9	79	2.6
	未回答	67	2.7	78	2.6

表 2. 未受検者の印象に残っている肝炎ウイルス検査受検勧奨情報 - 2013 年度、2015 年度の比較

	未受検者 N=2,517 (2013年度)		未受検者 N=3,058 (2015年度)	
	回答数	N=2,517に占める割合 (%)	回答数	N=3,058に占める割合 (%)
県民だより市民だより	51	2.0	108	3.5
案内状やダイレクトメール	9	0.4	5	0.2
ポスター (衣笠さん、かんちゃん)	146	5.8	135	4.4
かんちゃんのチラシ	44	1.7	17	0.6
きみまるさんのチラシ	104	4.1	111	3.6
新聞記事	20	0.8	41	1.3
きみまるさんのテレビCM	565	22.4	273	8.9
オール巨人さんのテレビCM	76	3.0	43	1.4
広島ホームテレビの報道特集	13	0.5	51	1.7
ラジオのCM	8	0.3	58	1.9
中国新聞の一面広告	10	0.4	37	1.2
市民公開講座	2	0.1	0	0.0
インターネット・ウェブサイト	3	0.1	20	0.6
その他: その他TVラジオ広告	22	0.9	136	4.4
その他: 他	28	1.1	59	1.9
合計	1,101	43.7	1,092	35.7
見たことはない	1,277	50.7	1,943	63.5
無記入	139	5.5	23	0.8

(4) 行政施策等の認知度

a) 肝炎ウイルス検査が無料でできることの認知度 (図 23)

未受検者の「肝炎ウイルス検査が無料でできること」に関する認知度は、2013 年度は

8.0%、2015年度では、8.8%であった(p=0.2979)。男女ともに若い世代での認知度が低かった。

b) 肝炎ウイルスを体内から排除できる治療があることの認知度

「肝炎ウイルスを体内から排除できる治療がある」ことの認知度は、未受検者においては2013年度(2,517人中552人、21.9%)よりも2015年度(3,058人中361人、11.8%)は低かった(p<0.0001)。2013年度では女性と高齢者の認知度が高かった。2015年度では性差はなかったが、女性の年代別認知率に差があった。(図24)

受検者における認知度も2013年度(1,398人中799人、57.2%)よりも2015年度(1,549人中700人、45.2%)は低かった(p<0.0001)。2013年度、2015年度ともに、認知度に性差・年齢差はなかった。

c) B型(C型)肝炎の治療費の公的助成制度の認知度

「B型(C型)肝炎治療費の公的助成制度」の認知度は、未受検者においては2013年度(2,517人中329人、13.1%)よりも2015年度(3,058人中791人、25.9%)は高くなった(p<0.0001)。2013年度は性差、年齢差ともになかった。2015年度では性差はなかったが、男女ともに50-70歳代で認知率が高かった。(図26)

受検者においても、2013年度(1,398人中462人、33.0%)よりも2015年度(1,549人中798人、51.5%)では公的助成制度の認知度は高くなった(p<0.0001)。2013年度は、性差はなく、男性の年代別認知率に差があった。2015年度は、受検者では性差・年齢差

はなかった。(図27)

d) 肝炎訴訟の認知度

2015年度の調査では、「肝炎訴訟」を知っている人は、未受検者3,058人中1,790人(58.5%)、受検者1,549人中1,189人(77.1%)であり、受検者は未受検者よりも肝炎訴訟認知度が有意に高かった(p<0.0001)。未受検者では女性、40-50歳代における認知度が高く、受検者では性差は認めなかったが女性の年代別認知率に差を認めた。

訴訟を行った人は全体4,609人中5人(0.11%)であった。

また、肝炎ウイルス検査受検者1,549人のうち、結果が陽性であった99人と陰性であった1,450人では、肝炎訴訟の認知度に有意差を認めなかった(検査陰性者; 77.0%、検査陽性者; 72.2%) (p=0.3262)。

e) 肝機能障害に対する身体障害者認定制度に関する認知度

2015年度の調査において、「肝機能障害に対する身体障害者認定制度」を知っている人は、未受検者3,058人中605人(19.8%)、受検者1,549人中477人(30.8%)であり、受検者は未受検者よりも認知度が有意に高かった(p<0.0001)。

肝機能障害に対する身体障害者認定を受けた人は全体4,609人中1人(0.02%)であった。

また、肝炎ウイルス検査受検者1,549人のうち、結果が陽性であった人99人と陰性であった1,450人では、認知度に有意差を認めなかった(検査陰性者; 30.7%、検査陽性者; 32.3%) (p=0.7344)。

## 未受検者における「肝炎ウイルス検査が無料」認知度

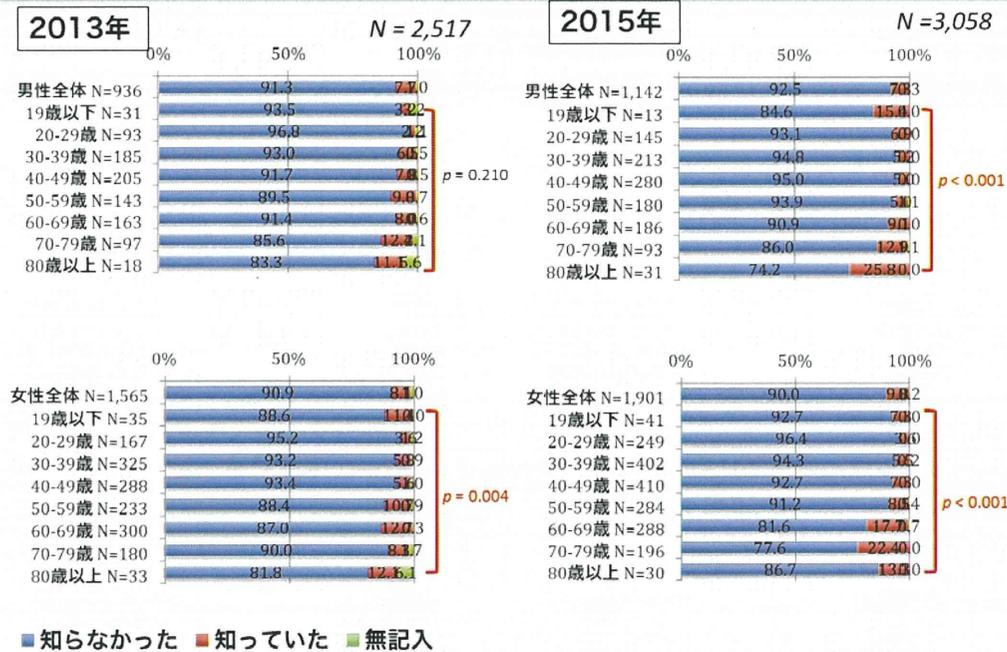


図 23. 性別・年齢階級別にみた未受検者の「肝炎ウイルス検査無料」認知度-2013年度、2015年度の比較-

## 未受検者における「肝炎治療」認知度

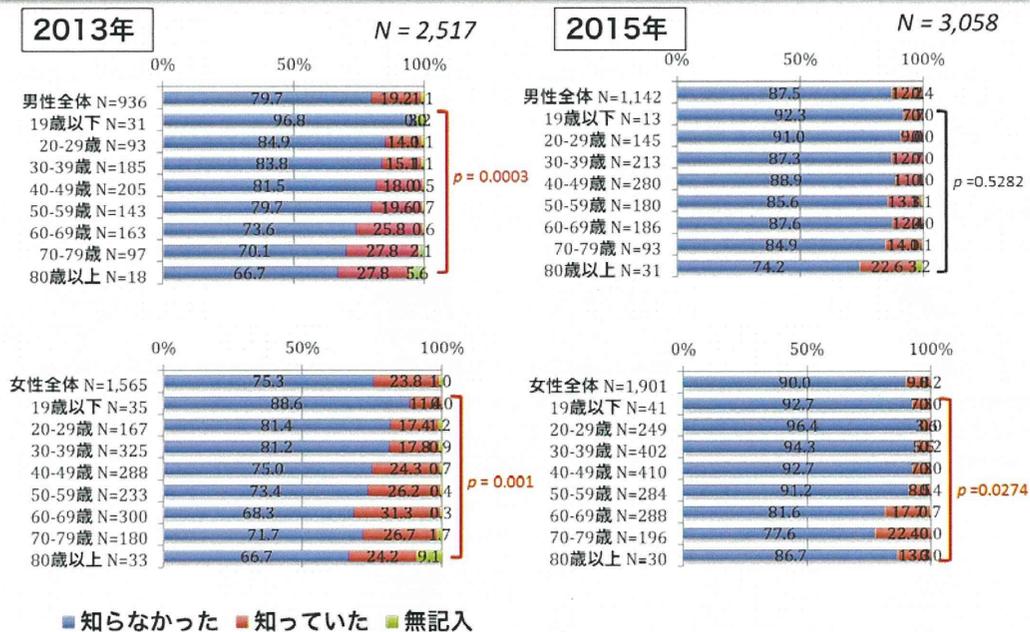


図 24. 性別・年齢階級別にみた「肝炎治療」認知度 (未受検者) -2013年度、2015年度の比較-

## 受検者における「肝炎治療」認知度

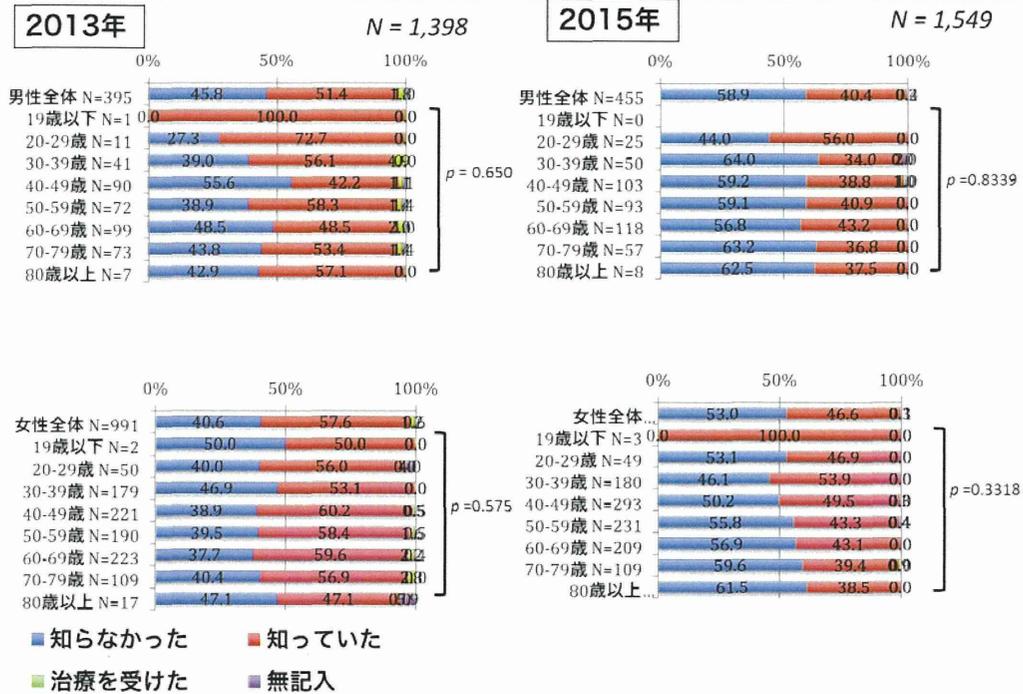


図 25. 性別、年齢階級別にみた「肝炎治療」認知度（受検者）-2013年度、2015年度の比較-

## 未受検者における「肝炎治療公費助成制度」認知度

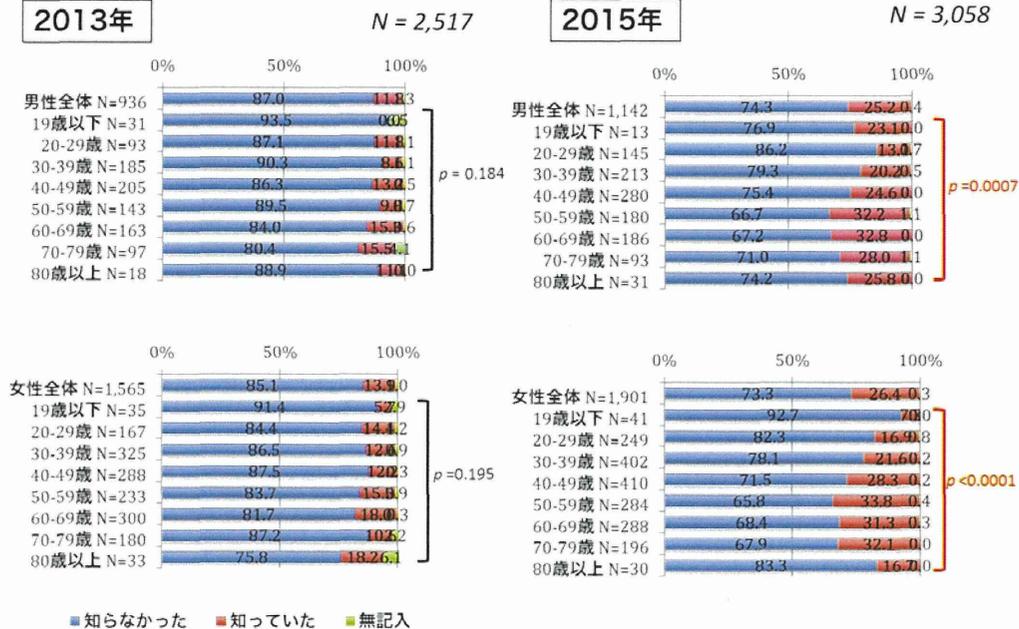


図 26. 性別、年齢階級別にみた「治療助成」認知度（未受検者）-2013年度、2015年度の比較-